



鳥生小だより



令和7年7月18日 発行

桜舞い散る4月に始まり、猛暑の7月に終わろうとしている1学期。参観日や運動会など、保護者や地域の方々に助けていただいたおかげで、子どもたちが安心して力を発揮することができました。本当にありがとうございました。明日から44日間の長い夏休みに入ります。登校日や始業式の日には、元気な子どもたちと会えることを心待ちにしています。

お知らせとお願い

先日、「放課後等の電話等の対応について」を配布しております。緊急時の連絡方法も含め、再度ご確認くださいませよう、お願いいたします。

加えて、8月12日（火）より15日（金）は学校閉庁日です。（つまり、8月9日（土）より8月17日（日）は、学校は閉まっております。）よろしくをお願いいたします。

お伝えしたいこと（「お天道様は見ている」）

「お天道（おてんとう・おてんと）様」とは、何を示しているかお分かりにならない方、いらっしゃいますでしょうか。私が子どもの頃（もっと 古いか）、
「遠山の金さん」（江戸時代を舞台とし、時の奉行である遠山景元（通称 金四郎）が人情味豊かに事件を解決していく時代劇ドラマ）のせりふの中にも登場したように記憶しています。

「お天道様」とは、一般的に「太陽」を示すとされていますが、「神様」や「仏様」と捉える場合もあります。また、ロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手が高校生のときに書いていた「目標達成シート（「マンダラチャート」がその原型と言われている）」も、その活躍とともに注目されましたが、その中の一つに「運」の欄があり、その運をつかむために必要なものとして、「あいさつ」「ゴミ拾い」「審判さんへの態度」などがあります。これも「お天道様」の存在を意識してのことではないかとも考えられます。「誰も見ていなくても、お天道様は見ているのだから、正しい行いをしなさい。」「お天道様に顔向けできないようなことはしてはいけない。」などという戒めの言葉が、どこまで通用する世の中なのか分かりかねるところもありますが、純粋な子どもたちであるからこそ伝えていきたい考え方・言葉の一つと考えます。現実には「お天道様」ではなく、「防犯カメラ」なのかもしれませんが……。

現代の情勢を考えると、証拠主義的な側面ももちろん大事ですが、道義的に、人として、自分を律することのできる子どもであってほしいと願っています。これからも、正しい行いをする者が報われる社会、誠実に生きる者が住みやすい社会を目指して、日々の教育活動を進めてまいりたいと思います。

楽しい夏休みをお過ごしください！

